

歯科用インプラントによるリハビリテーションと歯科衛生士の関わり方

Dental Hygienists' Involvements with rehabilitation using dental implant



Nobuko Kashiwai

柏井 伸子

有限会社ハグクリエーション

スウェーデンの整形外科医として骨折の治療を研究されていたPer-Ingvar Brånemark教授が骨とチタンが結合するOsseointegrationを発見し、1965年に人体へ応用して以来、世界中に“Implant”治療が普及していきました。その過程で、なぜ整形外科医が歯科用インプラントの臨床応用に尽力され、どのようなコンセプトを大切にされたのか、さらにその活動を看護師として支えたパートナーのBarbro Svensson女史が心がけていらしたマインドをふまえ、超高齢社会の我が国の現状および今後の展望を考えていきましょう。

多くの高齢患者さんが複数の全身疾患を有するマルチモビディティ（多疾患併存状態）にあり、易感染性であるということや、雑多な微生物が共存している口腔内でいかに長期的安定を求めるのか、また欠損部位への機能的および審美性を修復するリハビリテーションにより、オーラルフレイルのみならず全身のフレイルを予防し、健康寿命延伸に寄与することができるか等、検討すべきことが山積していますが、その解決策のキーワードは、“Patient First”です。個々の患者さんの特性を踏まえラポールを形成することができれば、外来のみならず訪問しての長期的メンテナンスの実践につなげていけます。

本セッションでは、4名の演者による多方面からのアプローチを、明日からの臨床に活かしていただけると確信しております。ぜひ口腔領域から全身の健康を見据える機会にさせていただければと思います。

【経歴】

- 1979年 東京都歯科医師会附属歯科衛生士学校卒業
- 1988年 ブローネマルクシステム[®] サージカルアシスタントコース修了
- 2003年 ロンドンおよびイエテボリにて4ヶ月間臨床研究
- 2004年 有限会社ハグクリエーション設立
- 2007年 公益社団法人日本口腔インプラント学会認定専門歯科衛生士
- 2011年 東北大学大学院歯学研究科修士課程修了 口腔科学修士
- 2015年 イタリア・ミラノにて博士課程研究のため4ヵ月間データ採取
- 2018年 Dental Treatment 2018 in Zurich Invited Speaker
- 2020年 一般社団法人日本骨粗鬆症学会骨粗鬆症マネージャーコース修了
- 2021年 一般社団法人日本歯科薬物療法学会認定歯科衛生士
一般社団法人日本有病者歯科医療学会認定歯科衛生士
- 2023年 Taiwan Academy of Implant Dentistry Invited Speaker